

令和7年12月23日

件名 企画展示 「多胡碑記念館 第29回 吉井こども書道展」の開催について

1. 開催趣旨・経緯

多胡碑記念館では、高崎市吉井地域の小・中学生に多胡碑（特別史跡）の碑文を手本として書いてもらうことにより、書道を通して碑に親しんでもらうとともに、郷土の歴史・文化の振興を図るため、「多胡碑記念館 吉井こども書道展」を開催します。本展は、旧称である「多胡碑記念館書道展」を含め平成9年度から毎年開催しており、今回で29回目を迎えました。

2. 開催期間 令和8年1月15日（木）～1月28日（水）

3. 展示場所 多胡碑記念館 2階 企画展示室・拓本のへや

4. 対象 吉井地域の「小学校5・6年生」及び「中学校1・2年生」

5. 募集作品 多胡碑の碑文80字から、自由に4文字を選んで書いた半紙作品
(1人1点)6. 賞の種類 紿羊賞（最優秀）1人、穂積賞（優秀）9人、和銅賞（優良）15人
眞人賞（秀作）25人の4種類。（賞の名称は、いずれも多胡碑の碑文にちなんでいます。）入賞者には賞状、給羊賞・穂積賞・和銅賞には記念品、応募者全員に参加賞。給羊賞・穂積賞の作品は、当書道展終了後も3月上旬まで館内で展示。7. 審査 (一社)群馬県書道協会から2名を推薦していただき、審査を依頼。
(審査結果についての問い合わせには、入賞者氏名の校正などを経た会期前日から対応できます。)8. 表彰式 令和8年1月25日（日）午前10時30分～ 多胡碑記念館
(給羊賞1人、穂積賞9人を予定)

【本件に関する問い合わせ】

教育部文化財保護課

多胡碑記念館

電話:027-387-4928

第29回 多胡碑記念館

吉井こども書道展

令和8年1月15日

（木）

～1月28日

（水）

～1月28日

（水）

～1月28日

（水）

～1月28日

（水）

多胡碑記念館では、昔の

書風を伝える多胡碑（特別

史跡）に親しんでもらうこと

を目的に、吉井地域の子ども

たちを対象とした公募書道展

を、平成9年度から毎年開催

しています。

小・中学生の元気な

筆遣いと墨の香りに、新年の

清々しさを感じていただける

と思います。是非、お出かけく

ださい。



展示風景(令和6年度)

対象…吉井地域の小学校5・6年生、中学校1・2年生。
募集作品…多胡碑の碑文80字から自由に4文字を選んで半紙

に書いた作品、1人1点。

賞…給羊賞（最優秀）、穂積賞（優秀）、
和銅賞（優良）、真人賞（秀作）の4種類。

その他…○入賞者には賞状、また給羊賞・穂積賞・和銅賞には記念品を授与。応募者全員に参加賞を用意。

○給羊賞・穂積賞の作品は、3月中旬まで館内で展示。

○開催要項や入賞者については、「よしい地域だより」に掲載。



たごぴー

多胡碑記念館

〒370-2107 群馬県高崎市吉井町池1085
tel. 027-387-4928 fax. 027-387-8726
開館時間 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
休館日 月曜日
ユネスコ「世界の記憶」登録記念のため、期間中は入館料無料



たごひきねんかん よしい しょどうてん おうほほうほう 多胡碑記念館 吉井こども書道展 への応募方法

① 多胡碑の碑文に出てくる漢字から4文字を選び、書く。

字は、連続した4文字でなくても構いません。

(たとえば「尊人成政」「和銅多胡」「上下左右」など)

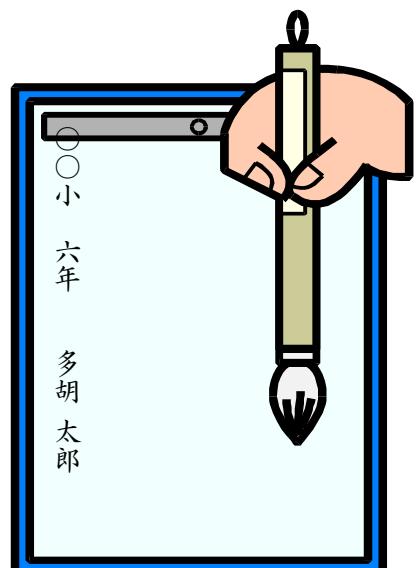
書体は、自由です。ただし、平仮名は審査対象になりません。

紙は、市販の半紙を使用してください。

② 紙の左端に「学校名、学年、氏名」を書く。

③ 学校に提出する(1人1枚まで)。

1月8日(木)午後、多胡碑記念館職員が各学校まで
作品を預かりにうかがいます。



【結果発表】入賞者には各学校を通して、審査結果をお知らせします。

表彰式などに關しては別にご案内します。

【表彰式】日時：令和8年1月25日(日)午前10時30分から

会場：多胡碑記念館 1階ホール

【作品返却】応募作品は、書道展終了後(2月上旬頃)、各学校を通して返却します。

右大臣・正一位藤原尊。
和銅四(711)年三月九日甲寅に命令が伝えられた。朝廷の弁官局から送られた天皇の命令書である。太政官・一品穂積親王、左大臣・正一位石上尊、左中弁・正五位下多治比真人。

【碑文の読み方】

弁官 符す。上野国片岡郡、緑野郡、甘良郡并せて三郡の内三百戸を郡と成し、羊に給いて多胡郡と成せ。和銅四年二月九日甲寅に宣る。

太政官・一品穂積親王、左大臣・正一位石上尊、右大臣・正一位藤原尊。



多胡碑は、711年に今の高崎市山名町と吉井町のあたりに「多胡郡」という郡がつくられたことを記念して建てられました。碑文にある「羊」には、羊太夫伝説があるて、多胡碑は、地元の人からは「ひつじさま」と呼ばれて、大切に守られてきました。多胡碑の文字は、18世紀(江戸時代中頃)には、中国で書道のお手本として有名になり、日本にも大きな影響を与えました。

※多胡碑の読み方や意味については、色々な説があります。